
めんどくさい人
2017年 改訂版

ハセガワアユム

登場人物

花恵【金持ちの女】

武藤【売春夫】

今口【売春夫】

野木【売春業者】

美奈子【野木の妻】

成沢【花恵のカウンセラー】、沙希【キャバ嬢】、配達員【某運輸】

あらすじ… 虚無が充満するマンションで花恵は男を買っている。その金で何でも解決する姿をまぶしく感じた男たちが言い寄るも、花恵は「ストレスで生きているだけで発狂して死ぬ美しい青い鳥」を捕まえて来いと、無理難題を命じるのだった…。

枚数：92P

△シーン1▽

小さく雨の音。

閑散として、ミニマリストみたく何も無い、広々としたマンションの一室。

ベッドで上半身だけ出している女が居る。

名前は花恵、金持ちだ。

目は死んでいるのに、やたら高価なパジャマを着ている。

そして、月を見つめている。

その横には裸の男、武藤がいて、同じく月を見つめてる。

花恵は静かに喋り出す。

花恵 金持ちだけが参加出来るパーティーがあつてさ。あたし、そこで本物の「青い鳥」を見たんだ。

武藤、ゆっくり答える。

武藤 ・・なんすか？ 「金持ちだけが参加出来るパーティー」って。

花恵 そうゆうのがあんだよ。

武藤 六本木とかですか？

花恵 そんな目立つところじゃやんねえよ馬鹿野郎。・品川の外れの埠頭とかだ。

武藤 へえ、品川（驚く）

花恵 重要なのはそこじゃねえ、（首を振り思い出す）

武藤 青い鳥？

花恵 ・・・そう、そうだよ（思い出しながら）・・インドネシアの南東の奥地に、生きてるだけでス
トレスが溜まって、発狂して壁に激突して死ぬ鳥がいるんだ。

武藤 ・・・

花恵 すげえ。

武藤 はあ。

花恵 動物で自殺って概念はあり得ねえ。いいか、自殺出来る動物は人間だけなんだぞ。

武藤 はあ。

花恵、シーツの下で武藤の性器に触れる。

花恵 なんで小さくなってんだ。

武藤 関心して。

花恵　なんだそれは。男って全員そうか？

武藤　さあ、少なくとも俺は、そうっすね、

花恵　お前、どう思う？

武藤　え、

花恵　その青い鳥のこと、お前どう思う？

武藤　・・・観てみたいっすね。

花恵　だろ？　すごい綺麗なんだ・・・糞ッ、あの時、競り負けてなければなあ・・・。ああ！　バカ！

お前のせいで思い出しちゃったじゃないかよ！！（強く握る）

武藤　イタ！　なんで俺のせいなんすか？

花恵　くだらねー質問したからだろ。

武藤　イタタタ！！

花恵　「この月より、綺麗なものはなんですか？」って。

武藤　前戯みたいなもんなんすから！　その後俺も同じ質問を答えるまでが、前戯なんすからあ。

花恵　めんどくせ〜よ。

武藤　1回だけ、訊いて下さい、

渋々、質問する花恵。

花恵 この月より綺麗なものってなに？

武藤 ……あなたです、花恵さん。

花恵 ううえっ（吐きそうになる）

武藤 いや、ギャグじゃなくて。

花恵 人間があめーんだよ、

武藤 ええ、

花恵 お前みたいな奴にはわかんねえんだよ、その青い鳥の美しさが。

武藤 （ふて寝）わかんないっすよ、見た事ないし。

花恵 おい、ふて寝すんな！ ……そろそろセックスするか？

武藤 ……もうちよつと会話しませんか？

花恵 おい、最近セックスより会話が長くないか？（ちよいきれ）

武藤 ……好きです。

花恵 ツ調子狂わせんなよ。（鼻で笑う）

武藤 狂わせてるのは、あなただ。あなたなんですよ！

花恵 身分わきまえろよ。

武藤 わきまえてます！ だからこそ、その、あなたが美しい！ この現世のこんがらがったブルーが

蔓延する現実の真ん中に関係なく咲く花だ、あなたは！・・・好きなんです。

花恵 無駄だ、あたしは恋愛廃業中だ。

武藤 そんな後生な！

半裸で土下座している武藤を尻目に成沢が入ってくる。

成沢 え、誰？・・・誰？

武藤 武藤です。

成沢 ……彼氏？

武藤 武藤です。

成沢 (ややきれながら) 質問に答えてよ。

花恵 「彼氏」じゃねえ、武藤くん。

成沢 は？

花恵 カウンセラーの成沢さん。売春夫の武藤くん。

成沢 は???

武藤 ちなみに「夫」って漢字は、夫(おっと)って書く方で。

成沢 (ややパニック) つか、え?なんで?

武藤 そりやまあ、売春夫つすから。ははは。デリボーイって？ デリヘルみたいな、あ、名刺。

鞆から名刺を出す、武藤。

武藤 「あなたの体の隙間埋めます」、デリバリーボーイクラブハグラシアスVの、

あとずさる、成沢。

成沢 信じられない。また男買って。こんな貧しいセックス。私は信じられない！ 不潔だ！ セック
スに至るまでには、正しい手順というものが存在するべきなんです！

花恵 その手順とやらが、めんどくせーんだよ！

成沢 めんどくさくなんかない！ そんなの全然めんどくさくないから！ それ全部が人生じゃないか！

花恵 成沢さん、これがあたしの人生なんだよ！

成沢 認めません。

花恵 (ため息をつき) ああ、じゃああれだ。前から言ってるだろ？ 青い鳥の話。

二人 え、

花恵 あの鳥捕まえて来たら、あたしの生活を改善してあげますって。

成沢 ふふふっ、小さい頃、絵本で読んだでしよう？ 「青い鳥は、結局一番身近なところにいるの
でした。」・・・フフフ・・・また後で来ます。

不気味に去っていく、成沢。

武藤 ……なんか、道德の授業みたいでしたね。（小さく笑う）

花恵 同じ学校でカウンセラーやってたから。いい年した私の事が心配だって。

武藤 え、それで…

花恵 10年前、離婚して引き裂かれた娘に似てるって。

武藤 えー。

花恵 カウンセリングじゃない日も毎日来んだよ。

武藤 そんなで花恵さんに説教しに来るんすか？

花恵 そう。

武藤 なんかもめんどくさいっすねえ。

花恵 そーなんだよ、めんどくさいのは成沢さん自身なんだよ、気づいてないけど。

間。

武藤 ……花恵さん、教師だったの？

花恵 ……なんだよ、

武藤 や、さっき「同じ学校で」って言ってたから。

花恵 ……

武藤 何で教師やめちゃったんですか、

花恵 ……

武藤 いつから、こんな風な生活してるっていうか、その、

花恵 ……

武藤 よかったら、俺、聞きますよ。昔っから「聞き役の武藤」って呼ばれてて、癒し系なんです、俺。

花恵 ……

武藤 ……なんて。すみません、プライベート詮索しちゃって。ルール違反っすよね。

追いすぎた武藤、気遣い、背を向ける。

間。

花絵、その背中をゆっくり見つめる。

花恵 ……セックスすつか。

武藤 え？

花恵 なんかしなくなつた。おい、おまえすぐ勃てる。

武藤 や、そんなすぐすか？

花恵 プロだろ！

武藤 そうっすけど！

花恵 ほら！ 5分でいいからフルパワーで入れてくれる？

武藤 そんな、

花恵 (脱ぎ出す)

武藤 (擦りながら) 勃起、間に合いません！

花恵 何やってんだテメー！ おい、時間ねーんだよ！ (下着を投げつける) 無理なら帰れ！ 価値無

し！

武藤 ちよつとお！ そんな、(股間を叩く) あれ！ つあれ？ (叩く)

花恵 ……

武藤、股間を叩くが、反応無し。

倒れ込んでしまい、絞り出すようにつぶやく。

武藤
．．．好きです、花恵さん。．．好きなんです。

花恵、諦めてベッドへ座る。

花恵
．．．めんどくさいなあ。

横になる花恵。

こちらからは顔が見えない。

武藤
．．．あ、あ、あ（絞り出す）愛してるんです。

間。

花恵の寝息が聞こえる。

武藤の声はもちろん届いていない。

暗転と音楽。

タイトル（あれば）『めんどくさい人』

△シーン2▽

灯りが付くと、再び同じマンション。

今口と花恵が体を寄せ合いテレビゲームに興じている。
ふたりはややいい雰囲気。

チャラそうな今口は見た目通りゲームが上手い。

ゲームをやっているも花恵の目は死んだまま。

それを見てふっと笑い、唐突に話し出す。

今口　みんな騙せばいい。

花恵 ……騙す？

今口 そう、青い鳥の為にみんなを騙せばいい。

今口、ホワイトバンドが付いている片手をあげる。

今口 これ知ってるだろ？

花恵 ……イカ？

今口 花恵（かっこいいリアクション）

花恵 悪い、テレビ見てないから。

今口 街中で流行ってる。

花恵 街にもあんまり出ないから。

今口 そっか。…ほわいとぼんどって言うんだ。10年前、これを買うと、貧しい人への募金になるって、藤原紀香さんやカヒミカリイさんが販売促進してた。いままた再ブームになってる、

花恵 へえ、今口も募金するんだ。

今口 俺はファッションだ。客も付けてたりすると、話が盛り上がるからな。

花恵 うわ最低、

今口 盛り上がるのが大事なんだ。

花恵 偉そうに、

今口 (偉そうも何も、実際には寄付なんかされてないって噂もあるんだぞ。

花恵 マジで？

今口 「助けよう」って意志表示の為だけらしい。

花恵 (呆れて)・・・それって意味あんの？

今口 (結論を引っ張ってくる)それで、思いついた。

今口、コントローラーを投げて、鞆から企画書を出す。

花恵 (読む) 青い鳥共同基金？

今口 そこに入会してこの企画を立ち上げる。赤い羽根に対抗して、青い羽根つてのを売るんだ。

花恵 パクリ？

今口 違う。もっとカジュアルに。その羽が欲しくなるように売り出すんだ。コラボとか、限定とか混ぜてな。

花恵 (書類をめくり) わわわわ、

今口 これは売れる。売れたら、その金で本当の青い鳥を探せば良い。

花恵 一個いくら？

今口 (ホワイトバンドを掲げ) これと同じ。

花恵 だからいくら？

今口 300円。

花恵 たった？ . . . それ何個くらい売れてるの？

今口 100万個くらい？

花恵 . . . 3億か。 . . . それならあたしが個人出資した方が早いぞ。

今口 . . . おまえ、いったいどれくらい金持ちなんだよ。

花恵 親の遺産で広尾にビルが6つある。それを運用と投資をしてどんどん増えってる感じ。

今口 ヒュウ。

今口、立ち上がる。

今口 花恵、付き合いおう。

花恵 . . .

今口 花恵、付き合いおうぜ。

花恵 . . . またかよ。何日目だよ。

今口 何度でもだ。

花恵 あんましつこいとチェンジ、

今口 (遮り) しつこくない程度に、忘れた頃に、そつと言わせてくれ。

花恵 あのなあ、恋愛とかめんどくせーから、お前とか呼んでるのに、これじゃ意味ないだろ！

花恵、札束を勢いよくバラまく。

花恵 ……お前もう帰れよ！ もーセックスいいから！

散らばった金を拾う今口。

今口 花恵、死ぬなよ。

花恵 は？

今口 あんたみたいな金持ちが、会いに行ったら・・・睡眠薬飲んで死んでたときがあった。

花恵 なんだよそれ、

今口 立场上プライベートまでは詮索しない。出来ない。だから、正式に交際して俺にプライベートまで詮索させてくれ。

花恵 やだよ、めんどくさい！

今口 俺たち、こんな盛り上がってるじゃないか！！！！ 気づいたらタメ口を越えてるんだぞ！ セツ

クスしながら、あんたに説教することもあった！！ 「男なんて買って〜！」 って！

花恵 だからなんだよ！

今口 盛り上がってる。

花恵 あのな、盛り上がってるから付き合えるって訳じゃないの！ もうそういうめんどいのはやなん
だってば！

今口 じゃあ何故チェンジしない。

花恵 チェンジ。

間。

今口 ……シャイなんだな、花恵は。

花恵 は？ 聞こえねーのか？ チェンジ、

今口 あんたのいうめんどくさいに勝つには、めげない。

花恵 チェンジ、

今口 (遮り聞こえない) めげない。あんたに相応しいのはそういうタイプなんだ。

花恵 ……あたしのどこが好きなの？

今口 (赤面) いまさら・・・(冷蔵庫にマジックで)ここに100個くらい書いておくぞ。
花恵 シャイはお前じゃねーか。

今口、冷蔵庫の壁面に書き始める。

すると、裸にバスローブを着た武藤がDVD片手に入ってくる。

武藤 花恵さん、ビデオ観てくれたんですね？

花恵 ・・観たよ、

武藤 俺、どーでした？

花恵 編集が荒過ぎてストーリー全然わかんねーよ、なんだこれ？

武藤 俺が映ってるそこだけ集めたんで、

花恵 気持ち悪いんだよ、

武藤 そんな

花恵 今口も映ってたんだけど、

武藤 え、

花恵 今口も、編集のせいかな？ なんか幽霊みたくチラチラ映ってたんだけど、あれ、今口？

武藤、いきなり花恵に抱きつく。

突き飛ばされる武藤。

花恵、金を武藤と今口の前に叩きつける。

花恵 お前ら、もう帰れよ！ 金やるから帰れ！！

武藤 俺は、俺は、金目当てなんかじゃないっす！！

花恵 仕事だろ。

武藤 だーかーらー、仕事じゃないんです。もう、これは。職業としてのセックスを越えたセックスをしてるんですよ、ぼかあ！ (カツコ良く絶叫) ただ、心だけが！ 心だけが追いつかない悲しいセックスをね！！

花恵 藤原竜也みたいな喋り方やめろ！キメーンだよ！

武藤 花恵さあん、いつ心追いつくんすか！？ 心、あるんすか？！ 俺ずっと心待ってる、心探してる！

花恵 やめろってえ！ おい！ プツ！（唾を顔にかける）

武藤 グア！ 目が！！

武藤、倒れ転げ回る。

花恵 謝らねえぞ。ノーコメントだ。

武藤 ははは、大丈夫です、これは夢ですから。

花恵 は？

武藤 夢なんですって。よくあるでしょ、夢って途中から気づいて好き放題しちゃうときって。

花恵 はい？？

武藤 だから、好き放題やらせてくださいよ。

花恵 これ、お前の夢？

武藤 違いますよ（今口を指差し）これ花恵さんの夢じゃないっすか、はははは。

花恵 はあ？ じゃあお前、人の夢なのに自分勝手にやろうとしたのか？

武藤 あくくはいい、そうなりますね。あれれ？ あっははは、

花恵 ざけんなよ！ コラ！

逃げ回る武藤。

武藤 でもこうは考えられませんか？心の奥底で、花恵さんは望んでた。

花恵　なんだって？

武藤　深層心理ってやつですよ！　真面目な女性のレイプ願望のような！

花恵　真面目な女性たちに謝れ！！

武藤　今口が好きなんですか？

花恵　え？

武藤　俺より、今口が好きなんですか？　．．それともふたりとも嫌いなんですか？　好きから嫌いか

で言ったら、どっちが微妙に好きなんですか？

花恵　．．．

花恵、答えられない。

武藤　あなたは可哀想な人だ。

花恵　あたしは、金なんかで狂ったんじゃない。金は、関係ない。

武藤　可哀想な人だ。

花恵　可哀想なんかじゃない。

武藤　．．これは夢です。

武藤、バスローブの紐を腰から、しゅるしゅると外す。

そして、今口に向かい、後ろから彼の首を絞める。

倒れる今口と武藤。

二人は、憎しみ合うように揉み合う。

花恵
おい！ バカ！ なにやってんだ！！！！

武藤
こんなの夢です！ 夢に決まってる！

灯りがどんどん暗くなってゆく。

暴れる2人。

武藤
夢だからって、美化しないでください！

武藤、今口の首を思い切り締める。

ゆっくり暗くなっていく。

暗転。

△シーン3▽

夕方と夜の境目の灯りに変わると、舞台も変わっている。

デリボーイクラブの△グラシアス▽の事務所。

野木が電話をしながら入ってくる。

野木　いつまでルノアールにいるの。・・・ルノアールですの話じゃないでしょ。・・・じゃあ帰ってくるまで、全部ヘルプで対応するから。うん・・・うん、参ったな。・・・まあ、帰って来たら詰める方向で、はい、よろしく。(切る)　ふう

野木、ソファに座り、演劇のチラシ束を机におく。

きつと観劇帰りだったのだろう。

そこに派手なシャツを着た武藤が入ってくる。

野木　お疲れちゃん。

武藤　お疲れさまです。

野木 今日、花恵さんそこだったよね？ (時計をちらっとみて) ちょっと早くね？ 気合い入っちゃっ

たく？ (あそこを触る)

武藤 (よけつつ) やめてくださいよ

野木 何も取って喰やしねえよ！ 商売道具！ (また触ろうとする)

武藤 止めてくださいって！ 野木さん！

武藤もふざけて、股間を触る。

野木は避けずに、掴まれたまま。

野木 . . .

武藤 . . .

野木 どうした？

武藤 いや、避けてくださいよ。(手を離す)

野木 すまんすまん。

武藤 . . .あと、これ今日の、

武藤、金が入った封筒を渡そうとするが相手がない。

武藤 美奈子さんは？

野木 ルノアール。あ、俺預かるよ。

武藤 (封筒を渡し) すみません

野木 (受け取り、中身を確認しつつ) なんか「抜き打ち検査」だって。

武藤 なんのですか？

野木 うちのと、客がデキてるんじゃないかって、美奈子と面談。

武藤 へえ、ルノアールで、

野木 そ、ルノアールで。罰金コースだな、ありや。

武藤 ・・怖いっすね、

野木 (数え終わり) 確かに。サンキューです。

野木、封筒をしまいながら、武藤のシャツに気づく。

野木 おお〜〜キャラ立って来たよおお〜。いい、いい、大分いい。やっぱ衣装映えるよ、引っ張られて男の顔になってきたよ。

武藤 ありやす。・・あのーでもさっそくクレーム入って、

野木 え、

武藤 花恵さんから、派手過ぎだつて。

野木 えくくくく、

武藤 「キャラと合っていないだろ」って、

野木 ええくくく、武藤くんの何知ってるんだよお、

武藤 変えちゃダメですか？

野木 うーん、きみは花恵さんだけのものじゃないからなあ。

武藤 お得意様だし。彼女の時きだけでも、

野木 そもそもヘルプで入ってるんだよ？ そこわかってる？

武藤 はい、

野木 ヘルプの相手を鼻肩してどーすんのお？

武藤 いや、

野木 好きなの？ 「惚れちゃったあ」ってか？

武藤 ……

野木 まさかね、うちガチ恋禁止なの知ってるもんね！

武藤 でも、

野木 (ムキになって) そもそもキャラ薄いじゃん!!

武藤 . . .

野木 武藤くんがキャラ薄いからさあ、俺なりの「演出」っていうの? そういうの大事かなって、そ

んで提案したんだぜ、そういう気持ちを無視しちゃさあ、

武藤 . . . わかりました、わかりました、

野木 (苦笑い) 頼むぜ。

野木、奥のシュテンダーを指さす。

野木 それ、クリーニング出すから、他の持ってきな。

武藤 はい、

武藤、服を選び出す。

野木、机の上の小劇場のパンフレットから公演のチラシを選別する。

武藤 また見て来たんすか? 芝居。

野木 おお。

武藤 好きっすね。

野木 もちろん。武藤くんは最近なにか見た？

武藤 全然っすねえ。

野木 (がっかりが滲みつつ) そーなの？

チラシを選別している間。

服を選びつつ、居心地が悪い武藤。

野木 これってもったいないくない？

武藤 え？

野木 チラシ。こんなにあるのに、面白いのはほんと一掴み。

武藤 ……そういわれると(苦笑)

野木 最近さあ、やっとなって来たよ。面白いの(右)と、面白くないの(左)。

武藤 はあ。

野木 美奈子に聞いた方が早いんだけど。悔しいじゃない？ 自分のセンスが、磨けないみたいでさ。

野木、面白い束を手に1枚のチラシを手に立ち上がる。

野木 きょう見て来たのはこれ。まあまあ面白かったからさ、武藤くんさ、この劇団のオーディション受けなよ、絶対それがいいって、な、

武藤 いや、自分はもう劇団とかはあんまり、

野木 (他のチラシを出し) じゃあこれは？ ぷろでゆうす公演っていうの？ ヨッちゃんが音楽やってて、

武藤 いや、あんまピンと来ないっすね。

野木 武藤くんは、次、いつ芝居するの？

武藤 . . .

野木 俺ずっと待ってるんだけど。

手を握る野木。

野木 言っておくけど、俺ゲイとかじゃないから。純粹に、純粹に、武藤くんのファンなのな。そこ忘れないでおいでくれる。

武藤 はい。

野木 俺はね、演劇を愛してるんだよ。

武藤 はい。

野木 あんないいアクトを魅せてくれるのに、きみ出会い系のサクラのバイトしてたって言うじゃない、そんな危ない橋渡ってるなら、渡り切っちゃった方がいいって。そんでスカウトしたんだぜ。

武藤 覚えてます。ずっと恩に着てます。

野木 応援してるんだぞ。・芝居やれよお、芝居やりやすくする為にこの仕事やってるのに、芝居やらないで春ばっか売ってどーすんのお？ 面接のとき、劇団時代の借金返して、俳優活動の資金貯めるって約束したじゃん。

武藤 しました、

野木 ダメだ！ もう一回約束しろ。

武藤 (諦めて)・・・はい。

野木、指切りをしようと小指を差し出す。

武藤、不気味な空気に飲まれ小指を差し出す。

小指同士が絡み合う約束の時間が流れる。

野木の胸に刺さっている青い羽を見つける。

武藤 あれ、これって。

野木 あ、気づいた？

武藤 これ青い鳥のつすよね、

野木 そうだけど、

武藤 これ今口のですよね？

野木 武藤くんも今口から買う？

武藤 え、

ドアの向こうから怒鳴り声が聞こえる。

武藤が慌てて様子を見に行く。

取り残された野木が小指をひとしゃぶりすると、

武藤を突き飛ばして美奈子と今口が入ってくる。

さらにちよつとアパーなギャル紗季が入ってくる。

美奈子はiPhoneを両手に持って、今口から逃げている。

美奈子 触るな触るな、触るなって言ってるんだろ、

野木 え、こつち来ちゃった！

今口　ちよ、ちよっと美奈子さん！　俺のiPhoneはいいっすけど、こいつのXperiaは返してやってください。

紗季　お願いします！

美奈子　だからパスワード教えたら返しますよ、って。

今口　教えたから見るじゃないっすか。

美奈子　ガチ恋じゃないんでしょ？

今口　そーっすけど、

美奈子　今口はガチじゃなくてもこっち（紗季）はガチかもしれないじゃない！

今口　それはそれでいいんじゃないっすか、

紗季　あはははは、

美奈子　何がおかしいの、

紗季　ごめんなさい、ちよっと、ハツパやってたとき呼び出されてのタクシー乗りーのなんで、三半規管？　三半規管関係ないか、

今口　こいつ今日のキャバ、オフだったんすよ、それなのに来てくれて、

美奈子　庇った。怪しい、（武藤に）怪しいよなあ？

野木　どーしたの！？

今口　ルノアール、追い出されて。助けて下さいよ、

美奈子、携帯を二台持ち、キングコングのように逃げ駆け上がる。
上着をめくると服の内側に青い羽根がびっしりある。

美奈子　こんなに！　こんなに、今ちゃんのこと応援してるんだよ、あたし。信じられる?!!

紗季　(自分も一本鞆につけてる) あたしだって、オーエンしてますよ、

美奈子　目ん玉ひん剥け、数、圧倒的だろ、箱買いしてるんだよ、こっちは。

紗季　孔雀(笑う)

美奈子　(拾ってバカにして) 超々々面白い！　いい？　今ちゃん、そんなあたし裏切るの？　裏切れるの？

野木　・・・今口(たしなめる)

今口　美奈子さん、ありがとうございます。じゃあ、俺のパス、教えるんで。こいつのは返してあげてくださいって(男らしく頭を下げる)

紗季　超かっちょいいんだけど、

今口　いいから、

美奈子、しびしび紗季のXperiaを渡す。

へらへら受けてる紗季。

今口、彼女を送って行く。

それは常連客をケアするホストのよう。

紗季 お邪魔しました、

今口 ごめんね、

紗季 ヨシギュー行くね

今口 いいじゃんいいじゃん（など楽しく会話）

見送り、今口が戻ってくる。

野木 ラリってるキャバ嬢庇ってどうすんだよ！

今口 あいつ、マジであれしか趣味のない可哀想な女なんすよ。

美奈子 だからって見逃せないでしょ。パスは？

今口 ・・0、4、5、3

美奈子 （打ち込み）ちげーじゃねーかよ、

今口 あれ？ えーと、4、2、1、1

美奈子 全然いつこめと違うじゃん（入力する）ああ、もうどうすんだよ！ あと一回間違えたら完全にロックかかるやつじゃん、これ！

今口 参ったなくくく、ははは、

美奈子 指紋、今ちゃん、指紋！

今口 え？（無理やり押し付けられる）

美奈子 指紋！（押してるのに開かず）なんで！？

今口 痛い痛い痛い、

野木 美奈子、もう諦めろよ。

武藤、ぼそりつつぶやく。

武藤 0728つす。

美奈子 え？

武藤 そいつの誕生日なんで、

美奈子 （入力し）あ、開いた。

今口 キメーんだけど、武藤。

武藤 …… なんとかの… 一つ覚えっつか、な。

今口 はあ？

野木 まままま、（止めに入る）

美奈子、iPhoneを貪るように漁る。

武藤と今口のふたりは険悪なムード。

宙に向けて、武藤がつぶやきを続ける。

武藤 こいつ、昔っから、なんでもかんでも自分の誕生日なんすよ。

今口 わりいかよ、

美奈子 へー、

武藤 自分好き過ぎんすよ。「劇団関係」のパスワードもつすよ、「劇団」の！

野木 いいんじゃないの、彼の劇団だったんでしょ？

武藤 セキュリティひっくいひっくい

美奈子 （iPhoneを振り）一周して盲点だったからいいじゃない、

今口 つすよねえ、

美奈子 チョーシにのんな、

今口 うす、

武藤 どんなきついスケジュールでも、自分の誕生日だからって無理やり公演やるんすよ、そのほうがファンも盛り上がるからって。俺、俺、北野映画のオーディション受かったのに蹴ったんすよ?!

今口 『アウトレイジ』のチョイ役だろうが、

武藤 たけし刺す役だったのに、

野木 え、あの役、本当は武藤くんだったの?

武藤 はい! その癖、その公演は中止になって大赤字越えて、

今口 なに、他人事みたく言ってんだよ、

武藤 は?

今口 なに他人事みたく言ってんだよ、って言ってんの、

武藤 . . .

美奈子、鉄拳でiPhoneを叩き割る。

全員、驚く。

全員 . . .

美奈子 (iPhoneから拳を離し) やっぱりガチ恋してんじゃねえかよ、

今口 え、

美奈子 あのラリパツパじやなくてよお、

今口 こういう商売つすから、客にはそう思わせないと、

美奈子 プライベートでも会ってるのはガチ恋の証拠だろうが！（とiPhoneを見せる）

今口 いや、ヒビ入ってて、

美奈子 焼肉行ってんじやねえかよ、「叙々いきましょ」って。「好きだから飛んでくぞ、俺は」って。

野木 えええ、誰と、誰と？

今口 寝ること以外も、この仕事じゃないっすか。キャバのアフターみたいなもんですって、

美奈子 いいや、違うね、この親密さ、違うね！

野木 (iPhoneを手に) ヒビ入ってて、読めねえ

美奈子 罰金だ、罰金！ 100万払え、100万、

今口 (即座に土下座) 勘弁して下さいよ！！

野木 …は、はな、え、さん？(かろうじて読む) これ、あの、「花絵」さん？

間。

今口 …肉、食いに行っただけっす。誤解です。それ以上は、

美奈子 (iPhoneをぬるぬるいじる) 読めない、

野木 自分のせいだよ。

野木、武藤を見やると、彼は、今口から目が離せないまま。
顔から血の気が引いてるのがわかる。
今口に向かって、野木が叫ぶ。

野木 とにかくうちの店はガチ恋は禁止だから!!!

武藤 . . .

野木 (武藤に) ちょっと下で、一服しよっか、

武藤 え、俺、タバコは、

野木 (冷蔵庫から缶コーヒーを取り出し渡す) じゃあ、月でも見てなよ、

野木、武藤を外へ連れて行く。

野木、ぼそりと「お前も笑ってる場合じゃねえぞ」と武藤へ釘を刺す。

残される美奈子と、今口。

怒りが収まらず iPhone を投げて、ソファへ座る美奈子。
目が潤んでそわそわして落ち着きがない。

今口 ああの、美奈子さんも重々承知だし感謝なんですけど、いま「青い鳥」の仕事が軌道に乗るかもつ
てときで、そのために資金が超必要で、

美奈子 …うん、

今口 だから、その罰金とか、

美奈子 …軌道に乗ったら、ここやめちゃうでしょ、

今口 まあ、

美奈子 覚えておいて欲しいんだけど、それでもあたしはずっと応援するから。

今口 ありがとうございます、

美奈子 だからさあ、店にいる間だけでも、こういうのやめて欲しいんだ（iPhone を今口に渡す）

今口 はい、今後、誤解を招くようなことは、気をつけます。

美奈子 （遮り急に怒鳴る）誰のものでもないから、好きでいられたらろうが！！！！

今口 ……

美奈子 それ忘れんなよ。

今口 はい。

間。

今口 (つぶやく) 好き？

美奈子 応援って意味だよ！ (財布を出し) iPhone7に変えてきなよ、

今口 いいんすか、

美奈子 7Plusでもいいよ、

今口 あ、ありがとうございます！

今口、最大限に誠意を持って頭を下げ、顔を上げて微笑む。

出て行く今口。

それを音もなく追う美奈子、後ろから抱きつき、乙女心全開でぶつぶつ呟く。

美奈子 (超早口) 好き、好き、好き、好き、今ちゃんのそういう礼儀正しいところ好き。すげー好き。

今口 美奈子さん、

美奈子 それ以外のところも好き。好き好き好き好きだから。

今口 はい、

美奈子　ごめん、ごめんね、怒鳴ってごめんね。

今口　大丈夫です、

美奈子　でも超好きなんだ、

今口　美奈子さん、野木さんと結婚してるじゃないっすか

美奈子　それはそれでそうなんだけど、つまらないこと言わないでよ、

今口　すみません、でも、嬉しいです、

美奈子　嬉しい？

今口　はい、

美奈子　それが大事、それが一番大事、

間。

今口　・・・ショップ、閉まっちゃうんで（離れようとする）

美奈子　ごめんごめん、iPhone 割っちゃったのあたしだもんね。つうか、あたしが買ってあげたあたし名義だから、あたし機種変行くわ。それが筋じゃん、あたしバカだね、

今口　んなことないっす、

美奈子　ちよっと待ってて、

今口　いまの時間、めっちゃ混んでますよ、

美奈子　いって、

と、iPhoneを手に去る美奈子。

今口、深呼吸を深くして、ソファに寝転ぶ。

今口　酒飲みて~~~~~

武藤が戻ってくる。

今口　野木さんは？

武藤　まだソワレに間に合うかもって、芝居観に行った、

今口　狂ってるな、

武藤　美奈子さんとなんかあったの？

今口　え、

武藤　すげー笑顔で走ってきてぶつかったから、

今口　iPhone機種変してくれるって。んで待機。

武藤　へー、ガチ恋、どうなったの？

間。

今口　誤解だって落ち着いた、

武藤　誤解？

今口　そう、

武藤　じゃあ、花絵さんのことって誤解ってこと？

今口　そう、

武藤　よかったじゃん。（大声で笑う）あっはっはっ！　あーよかった、

今口　なんだよそれ、

武藤　土下座損じゃん、

今口　損じゃねえよ、

武藤　恥ずかしいわあ、

今口　お前になんてケツの穴見せまくってるから今更恥ずかしいなんて無いね、

武藤　よく言うわ、

顔をあげる武藤。

武藤 あのを、俺もさつき知ったんだけど。今口のヘルプで、花絵さんに入ってるの、俺なのね。

今口 はあ？ マジで！？

武藤 野木さん、誰のヘルプとかはいちいち言わないじゃん、俺ら傷つくから。

今口 (すごい嫌そうに) 武藤と、同じ女と寝てるのか、俺、

武藤 ここにいりやいくらでもあるだろ、そんなこと、

今口 ええええくくく、

武藤 俺はそんなこと全然気にしないから。

今口 は？

今口に近づく武藤。

武藤 でき、花絵さんの本指名を俺に譲ってくれない？

今口 ん、

武藤 誤解招いたりしたのも本指名受けてるからだろ？ だからさ、

今口 つうか、指名ってのは向こうがするもんだから、

武藤 花絵さんも迷惑してると思うんだよ、焼肉誘われたりしてさ、

今口 ……

武藤 花絵さんはセックスがしたくて呼んでるんだよ、いい迷惑だろ、

今口 悪いけど、俺、花絵とはセックス以外もしてるから、迷惑じゃねえし。焼肉も行くし、ゲームもするし、カラオケもするし、

武藤 はいはいはい、

今口 なに？ お前、え？ お前がガチ恋してんの？

武藤 ……そういうお前はどうかんだよ、

今口 ノーコメント。

間。

武藤 バレバレなんだよ。バラすぞ、美奈子さんに。

今口 何を？ ノーコメントだって言ってるんだろ。そういうお前こそチクってもいいんだぞ。

武藤 俺は何も言ってない、

今口 本指名譲ってくれって、

武藤 業務上の申請だ、

今口 お前、いつつも俺の女を取ろうとするよな。

武藤 ……花絵さんはお前の女では、

今口 (遮り) さっきもベラベラベラベラ情感たっぷりに喚いてたけど、結局お前が、女優に、俺の女に、手出したから、公演中止になったんだろうがよ!!!

今口、ゆっくり立ち上がり、クラッチバックで武藤のあたまを叩く。

武藤 ……助けてあげたんだ、

今口 そう思ってるのはお前じゃね、

武藤 違う、あの人のために、

今口 そんで行き着いた先がここじゃお笑いだよ。元は芸能事務所で枕営業しすぎてこんなになっちゃったって、ギャグみたいな場所じゃねえかよ、

武藤 ……

今口 お前が指名もらってるのって、ゴマアザラシとか砂かけババアみたいな客ばっかだろ、そんなドブさらいみたいな仕事してるやつが、花絵をよこせて夢見てんじゃねえよ。……劇団やってたときだって大してファンもつかなかったくせに、いつまでも、どこでも、夢見てんじゃねえよ、

そこに紗季が入ってくる。

紗季 喧嘩ちう？

今口 ああ、なんでもない。なんでもないなり。

紗季 ヨシギュー行ってきたよお、最近高いんだね、

今口 おお、おお、ありがとね。

紗季、鞆からマリファナが入ってる包みを渡す。

今口 これさあ、もつともつと欲しいんだけど、

紗季 ええ、ヨシギューじゃ厳しいかも。

今口 なんかこう（箱一つ文）くらい欲しいんだよね。

紗季 無理目くく！

今口 頼むよ、

武藤 あの、俺、いるんだけど、

紗季 あれれ、誰だっけ、

今口 ケツ穴兄弟、

花恵、ベッドに横たわっている。

テレビには武藤の出ている映像が流れている。

彼の喋る台詞が室内に小さく響いている。

それを見ながら、笑っている花恵。

冷蔵庫を開け、水を取り出して、錠剤を飲む。

そこに成沢がやってくる。

気付かずテレビを見ている花恵。

花恵
・・・

成沢
飲み過ぎですよ。

花恵
(笑ってる)

成沢
これお土産。長野名物、信州そば、

花恵 (笑ってる)

成沢
ちよつと聞いてる？

花恵
・・・悪夢がヒドいんだよ、

成沢 え？

花恵 どんどんヒドくなってる、

成沢 ・ ・ ・ カウセリングしましょうか、

花恵 あんたがよこしたのがこれだろうが（薬を叩き付ける）

間。

成沢 私の力不足でごめんね（被害者面） ・ ・ ・ 青い鳥、まだ見つけられなくて本当ごめん。毎週末、青い鳥共同基金のメンバー、みんなで頑張ってるんだけど、週末が週に三つくらいあればいいんだけど、

困り顔の成沢。

花恵呆れてテレビを消す。

花恵 裁判負けたんだって？

成沢 ・ ・ ・

花恵 養育費や慰謝料だ延滞してっの。

成沢 あえて経済制裁してたんです。

花恵　なんだよ「経済制裁」って。こっちなんかいから、自分の事だけやってよ。

成沢　いや、逆に、こっちに専念出来るから。裁判はもう負けたんだし、

花恵　アホか。

成沢　アホで結構、結構毛だらけネコ灰だらけ、お尻の穴は糞だらけ。

花恵　黙れよ。

成沢　好きだったんです。あいつらに、自分の価値を認めて欲しかったんです。

花恵　好きだから何してもいいってのは、暴力だろうが、

成沢　暴力？

間。

花恵　そうでしょ、

成沢　そんなもん込み込みなのが「好き」じゃないか。それ全部が「好き」じゃないか・・・なんでそれ、わかんないかなく、

花恵、テレビをつける。

成沢、消す。

成沢 それでね、いま青い鳥共同基金でも好きな人が出来たんです、すごいでしょ。

花恵 (金を出し) その話、買った。

成沢 なにそれ？

花恵 買ったからもう広げるな。

成沢 私の話を聞いて刺激を受けて欲しいんです。恋愛は社会復帰への第一歩なんですよ。

花恵 (更に金を出し上乘せ) いろいろと足しにしろよ、

成沢 教師やってた頃の、あの花恵さんに戻りましょうよ。

花恵 (金を足し) いいから養育費払えよ。一人で住んでて寂しい3LDKのマンション、リフォーム

しろ

そこにスーツ姿の武藤が入って来ていた。

武藤 なんすか、その金、

花恵 お前こそなんだよ、その格好。

武藤 ちよっと、

成沢、椅子と荷物を片付け出す。

成沢 はいはい、ギター、セックスの時間、ギター。

武藤 なんですかそれ、

成沢 ひえお！ 近づくな！ ペニス！

武藤 ペニスじゃないです、

花恵 だからその格好はなんだって（笑）

武藤 就活してて。

花恵 え、

成沢 昼は営業、夜は売春夫みたいな？

武藤 や、この仕事そろそろやめよっかなくて、

花恵 なにそれ、

成沢 （笑顔で武藤の肩を掴み）有り。

武藤 もうなに？

成沢 （花恵の肩を掴み、武藤を見て）有り。

花恵 だから、

成沢、満面の笑みで親指を突き出す。

成沢
引き続き、青い鳥、探して来ます。

満足そうに出て行く、成沢。

呆れる武藤と花恵。

武藤
あ、これ（長野名物）入れときますね。

花恵
それよりなんだよ、就活ってよお、

武藤
あの、店には内緒で、

花恵
そうじゃなくて、

武藤
すぐ脱ぎますから、

花恵
そうじゃなくて、

花恵、武藤に詰め寄る。

武藤
・・・勝ち目ないなって、今口に、

花恵
・・・

間。

武藤 今口が夢にまで出てくるんでしょ？

花恵 悪夢だぞ、

武藤 悪夢でも、勝ち目ないっすよね、

花恵 ・・・勝ちとか負けとか、

武藤 あんな夢を見るってことは、花恵さん今口のこと好きなんですよ、

花恵 ・・・

武藤 自分の世界から出たいのに、でもそれが怖いから、自分が惹かれてる人間を殺そうとするんだ、

花恵 武藤を使って、

武藤 俺を使って！ ・・・なんで俺なんすか！ 俺ってなんなんすか！？ ・・・体売って！ 好きな

人には殺人示唆されて！

落ち込む武藤。

武藤 街歩いてると、青い鳥の羽根を胸に刺したやつがうじゃうじゃいるし。あいつ、青い鳥共同基金の幹部？ とかになったらしくて、ついに鳥探すって旅行行って、

花恵 え、

武藤 ・ ・ 知らないんすか？

花恵 知らねえよ、

武藤 はは、じゃあサプライズだ。

DVDを再生する花恵。

花恵 これ面白くなって来たぞ、

武藤 もう止めてくださいよ、本人目の前で、

花恵 繰り返し見るようにしてたら段々面白くなって来た、

武藤 サブリミナル効果ですよ、

花恵 また舞台俳優っての？ やれば？

武藤 簡単に言わないでくださいよ、

花恵 ・ ・ あたしの金使っていいからさ、

武藤 いいっすよ、そうやって無理に好きになろうとしなくても、

映像を止める武藤。

武藤 シャワー浴びて来ます。

花恵 武藤、

武藤 はい、

花恵 武藤！！！

DVDを取り出す花恵、武藤の胸に突っ返す。

花恵 あたしが適当にもの言ってると思うか？

武藤 ……

花恵 これでも、元教師だぞ。

武藤 ……

花恵 あんた輝いてるじゃん、

武藤 …… (苦笑し) 教師って、そんなこと全然話してくれないじゃないっすか、

花恵 ……

武藤 ただ、セックスするか、ただ、黙ったまま月見てたりとか、

花恵 ……

武藤 そういう時間も、好きでしたけど。

花恵 ……そう、

間。

武藤 花恵さんにはそういう時間が必要なんだなって。

花恵 ……

武藤 違いますか？

花恵、言葉を探すが出て来ない。

武藤 (辛そうに) 今口が帰って来たら、俺きっぱり辞めますから。……だから、それまでは俺のこ
と指名してください！ それまででいいんで、俺、呼んでください。

花恵は、武藤の気持ちに答えられない。

花恵 チェンジ。

武藤 . . .

花恵 武藤、今日で最後。

武藤 . . . え、今口、まだ

花恵 いいから。

武藤 でも . . . 店、いま . . . 誰も変わりいないですよ、

花恵 うん、いいよ。

武藤 だって、

花恵 セックスはセックスなんだよ、ガタガタうるせえな。

武藤 . . .

花恵 お前はいま、世界が狭くなってるだけ。だからあたしのことが好きなんだよ。

武藤、呆気にとられたまま。

チャイムの音が鳴る。

花恵、無視して寝転がる。

もう一度鳴る。

武藤、居たたまれなくなり玄関へ出て行く。

運送会社のペット直行便の担当者が入ってくる。

手には袋に包まれた鳥のケージがある。

担当 お世話になっております、ペット直行便です。こちらサイン戴いてもよろしいですか。

武藤、驚きながらもサインする。

その担当の胸にも青い羽が刺さってる。

担当 あ、なんかこれ流行ってて。

武藤 いいっすよね、

担当 お客様と会話が生まれたりして、あ、今みたいに。

武藤 (苦笑する) はは、

担当 「あるとないじゃ大違い」。

武藤 (反芻し) 「あるとないじゃ大違い」、

担当 (サインされた伝票を受け取り) ありがとうございます。

と、去って行く。

伝票をまじまじと見て驚く武藤。

ケージを持ったまま、震えて入ってくる。

武藤 花恵さん、めっちゃめっちゃ偽名ですけど、今口の字です。つか、なんで、偽名、サプライズ？ え？

(察し) え・・・

と、ケージをそっと置く。

花恵、興奮を抑えつつ近寄り、そっとカバーを開き、覗き込み、
顔をつっこむ。

武藤 成沢さん、呼びます？

花恵 ・・いいよ、

武藤 ルールじゃないっすか、

花恵 ルール？

武藤 ・・青い鳥見つけたら、生活変えるって、

花恵 あいつが見つけた訳じゃない、

武藤 でも、これでみんな花恵さんが変わるって、

花恵 そもそも死んでる、

武藤 死んでる？

間。

武藤 (伝票を見て) こういうの、補償とかここが、

花恵 払えるわけねえし、生き返るわけでもねえし、

花恵、カバーから顔を出す。

花恵 言っただろ？ 生きてるだけでストレスで発狂して死ぬんだ。

鳥は死んでしまっている。

何も解決しないので、彼女は笑ってしまう。

武藤、棒立ちのまま。

暗転。

△シーン5▽

明かりがつくと、ベッドの上には野木が花恵と寝ている。

床には野木の服が散らばっている。

空になったワインとグラスがある。

また、月が照っている。

野木、眩しそうにしつつ、おもむろに話しながら部屋を片付ける。

野木　ぼくは思うんですけどねえ、世界は基本「めんどくさい」で出来ていると思うんですよ。

花恵　・・・

野木　その「めんどくさい」で出来た大きな歯車みたいなのをね、せーのでみんながちよとずつ押すんです。みんなでちよとずつ押すから、それは回るんです。なかには手を抜いて回しているやつもい

るでしょう、だけどこれは強制参加なんです。・・・誰も逃げる事は出来ない。もし逃げたら、皷寄せを受けた人間からの報復が待っている。

花恵
・・・

野木　ぼくがここに居る事も、ね。そういう理論だと判り易いですよね？

花恵
・・・

野木　（耳元で囁く）それとは別に、すみません。セックス下手で。

花恵の様子がおかしい。

花恵は動けない。

美奈子が入ってくる。

手には数冊の本などの荷物と紙袋。

美奈子　何謝ってんだ馬鹿。

野木　紳士だからさ、俺。

美奈子　聞こえてないっての、

野木　そうかな、

美奈子 何錠飲ませたの？

野木 2錠

美奈子 でしょ、

服を着始める野木。

美奈子、奥の部屋から持って来たものを、全部床に並べる。

高校時代の教科書やら、

美奈子 もうさあ、病んでる人にデリスんの止めよ、こあい（こわい）。

野木 そんなこと出来ねえよ、みんな病んでんだから。

美奈子 こあい（こわい）

野木 なにこれ？

美奈子 手がかり無し。脈絡も無し。

野木 人のルーツなんてそんなもんでしょ（教科書をとって）教師、（本をとって）こんな読んでは？

美奈子 あとこれ、（イトーヨーカードーの袋を指し）これだけで2000万くらいある、

野木 なぜイトーヨーカードー

美奈子 この女にとって2000万ってのはヨーカドーレベルなんでしょ、

野木 じゃあ紀伊国屋の紙袋探せ、もっと入ってるだろ、

美奈子 あるかな、

野木 あるよ、

美奈子 そもそもそういう基準なの？ つうか部屋全部探したんだけど、

野木 風呂場は？

美奈子 風呂場？

野木 甘いな。隠そうと思えばいろんなところに隠せるもんなんだよ、

美奈子 そんなセコセコ隠す人間に見えないんだけど、

野木 探して来る。

美奈子 もーいいよ、これで(2000万)手打とうよ、

野木 馬鹿か！ 今口の肩どこまで持てば気が済むんだ・・・全然足りねえよ！

野木、携帯電話を取り出し、奥の風呂場へ探しに行く。

野木 (携帯に呟く) なにやってんだ、全力で探せ、

美奈子、仕方なく思い出の品々を漁る。

美奈子 日記とか手帳とかないの？

美奈子 冷蔵庫の上にあるタバコケースをあける。
そこで拳銃を見つけてしまう。

美奈子 もくくくく (渋々手に取る)

シートがゆっくりと大きくなる。
それに気づいて、驚く美奈子。

花恵 ・・マジ止めてくれる、マジ本物だから。

美奈子 すごいね、金持ちは。

花恵 ほっとけ、護身用だ、

美奈子 つか、え、なんで起きてるの？

花恵 んくく (睡眠薬) 毎日飲んでりゃそりゃ効かないよね

美奈子 は？

花恵 返せって、おもちゃじゃないから。

美奈子 代わりに今口の居場所教えてくれます？

花恵 だから知らない

美奈子 知らない訳無いじゃないっすか。あんたの為に鳥探し回ってたのに・

花恵、辛そうに倒れ込む。

ベッドの下に落ちてる携帯を探り取る。

花恵 (投げて渡す) ほら、それ返せ。

美奈子 保留(拾い、銃を自分のポケットに入れてしまう)

花恵 ・ ・ ・じゃあ、水

美奈子 ほーい

辛そうに寝返りを打つ花恵。

美奈子、携帯をいじりながら冷蔵庫へ向かう。

美奈子 わ、え？ マジで？ いじってないよね？ これ、着信がうちの店しかないじゃん。

花恵 ……

美奈子 電話帳も登録無しって、これ携帯なの？

携帯を冷蔵庫の上に置き、水を取り出す。

コップに水を汲む美奈子。

目薬をガンガン入れてる。

美奈子 ……あたし今口のこと応援してたんすよ。青い羽根も死ぬ程買って、あ、うちの野木は武藤のこと応援してるから、どっちが大成するかお互い賭けてて。なのに腹立ちますよね。こんな仕打ち。あいつ、青い鳥盗んでトラブツたらしくて、あたしがいまままで貸した金も全部踏み倒して逃げちゃって。(苛立ち) 馬鹿にしますよ、

花恵 好きただけだろ、今口のこと

美奈子 え、

花恵 女は好きじゃない男に金は貸さない。そんでもって、金はあげるつもりで貸せよ。

美奈子 言うねえ、

コップを花恵に渡す美奈子。

花恵、飲むと吹き出してしまう。

花恵 ふざけんなー！

美奈子 はははっ、

野木が戻って来る、

野木 おい、どうした？

美奈子 (笑いながら) 目薬入れるって何十年前だよね？

花恵 てめえ、

美奈子 全部あなたのせいだよ！！ 世捨て人気取って、詩人みたいな生き方して、下々の人間見下して、

野木 八つ当たりは止めとけて、

美奈子 だってそーじゃん、そーでしょ？

野木 花恵さんのおかげで武藤くんも色気出て来たんだから。

美奈子 そりゃあんたはいいよ！

野木 ありがとうございますね、本当むーくんの件では感謝しています。

美奈子 誰が、むーくんだよ！

夫婦喧嘩が始まる。

すると、奥でドアの閉まる音がする。

野木 なんだ？ . . .

様子を見に行く野木。

間。

慌てて戻って来る野木。

野木 今口だ、間違いない。

美奈子 マジで？

野木 たぶん、

美奈子 どっちだよ！

二人とも追う。

拳銃の入った上着を忘れて行く美奈子。

誰もいなくなった部屋。

花恵は、起き上がりひとまず床に吐く。

花恵が戻り、ソファに倒れ込む頃、

マスクをした男が入って来る。息が荒い。

今口だ。

今口　なんて格好してんだよ、

花恵　お前こそ、

今口　（マスクを取り）はは。．．．複雑だな、本当はお前が寝てる間に、パパッと来て帰ろうと思っ
てたんだけど、

花恵　あいつらは？

今口　まさかここに帰ってくるとは思ええ、はは

花恵から水を奪うようにもらい、飲む今口。

顔には殴られたような痕も見える。

驚く花恵、

今口 鳥どこ？

花恵 え、

今口 鳥、ここにあるんだろ？

花恵 ・・ああ（そうだけど）死んでるぞ、

今口 知ってるよ、武藤から聞いた。

花恵 武藤から？

今口 どこ？ ・・どこにある？

花恵 冷凍庫、

今口 （吹き出す）はあ？ 証拠として必要なんだ。

今口、冷凍庫に近づく。

花恵 待て、武藤からってなんだよ、

今口 あの手鹿と殴り合いするの、二度目。はは、俺の二連勝だけど（顔を指して）

花恵 は？

今口 昔、俺の劇団にいて女優取り合っけ、それで解散、公演中止、借金背負って、あれだな、ギリ
シャ文学とかの双子の関係なんだな、この因果は。

今口、鳥の箱を開ける。

鳥を確認する。

今口 よかった・・・

花恵 なにがあつたんだよ、

今口 この鳥を転売したんじゃないかって基金の連中に濡れ衣をかけられてる、

花恵 お前、これ盗んで来たのか？

今口 借りたんだ。

花恵 死んでるぞ、

今口 ……

花恵 ……言つたよな、ストレスで発狂して死んじゃうって、ちゃんと大麻をケージに詰めないで、
今口 判つてるよ！ その大麻を買おうとして、あれからこんなめんどくさいことになつちまつたんだ

(事務所の金のことなど)

花恵 いいから、悪かったから、あいつら帰ってくる前にこれ(鳥)持って帰れ、

今口 お前の為だぜ

花恵 だから、本当ごめん、

今口 だから、どうなんだ？ 俺と正式にプライベートで付き合ってくれるのか？

花恵 え、

今口 鳥、見つけたろ？ 約束したろ？

花恵 ……

今口 おまえは誰だっかっていいんだ、虚無感に苛まされて、自分をどっかに連れてってくれる暴力のよう
な愛をお前は待ってたんだよ、な？ 俺には判る、判るんだよ、

今口、花恵を抱きしめる。

今口 一緒に行こう、

花恵 いま？

今口 ああ、いますぐだ。

花恵 いますぐ？

躊躇する花恵。

今口 何故、躊躇する？

花恵 ……怖い

今口 こわい？

間。

今口 よし、じゃあ今から生きてる青い鳥を買って来よう、

花恵 え、

今口 品川のどっかでやってるんだろ？

花恵 でも、

今口 (イトーヨーカドーの袋を掴み) これで買ってくる、

花恵 そんなんじゃないや買えねえよ、

今口 (腕時計見て) もういいんだよ、これで、これで買ってくるから。

花恵 足りない分どうすんだよ、

今口 ガッツでなんとかする！

花恵 ガッツって、

思わず、花恵に殴り掛かる今口。
ベッドの脇に倒れてる花恵。

堰が切れたかのように、何度も、何度も、殴られる。

今口 時間ないんだって！！

花恵 (辛そうに) あたしのこと、好きなんでしょ、

今口 遅いんだよ・・・いろいろと。

花恵 ・ ・ ・

今口 (悲痛に) 遅いんだよ、

そこにドアが閉まる音が聞こえる。

身構える今口。

花恵、武藤につかみ掛かり、なんとか剥がす。
勢いで倒れ込み、ちりぢりに離れる3人。

呼吸が止まらない。

今口 (咽せる)

花恵 ……こんなんで、刑務所入ってどーすんだよ!!

武藤 ……こんな奴、生きてる価値ないんすよ! 人を、愛せる筈が無い、

花恵 あたしも一緒だ、

武藤 ……あんどきだって…俺らのせいで自殺しちゃったんすよ、あの子、

花恵 知らねえよ!!

今口 (咽せながら溢れる) 本当に好きだったんだよ、じゃなきや、ここまでやらねえって…

咽せる今口が止まらない。

どんとんと容態がおかしくなる。

そこに野木と美奈子が帰ってくる。

野木 なんだこれ、なんだこれおい

美奈子 今ちゃん！！

野木 なにがあつたんだ？ おい、武藤！

美奈子 死んじやう、今ちゃん死んじやう、

美奈子、今口に人工呼吸。

一同、見守る。

何回かやるが、明らかに長いキスをしていて、やり方が間違ってる。

野木 何死にそうにな人間にディープキスカましてんだ！

美奈子 だってえ、・・・好きなんだもん、

野木 ああ、めんどくせえ、本当のファンならよお、手え出しちゃダメだろ！ 俺だって、
武藤君のファンじゃなかったら、とっくにヤってるもん！！ （武藤に）ヤッてるよなあ？

武藤 知りませんよお、

美奈子 いいじゃん！ キスくらい！ 好きな人が死んじやう前にキスして、何が悪いの？

今口 (呼吸が戻るが、ゲロが口から溢れ出す)

全員 (驚く)

野木 よかった、ゲロ出て来た。これが詰まってたんだ、

美奈子 キューちゃん、キューちゃん(119をかけようとする)

野木 車載せた方が早え、(武藤に)手伝え!

武藤 え、

野木 劇団またやるって言っただろ! こんなんでポシヤったら許さねえからな!

武藤 . . .

野木 武藤!

武藤、返事も出来ず、野木と今口の体を起こす。

みんな今口の体を心配しつつ運んでいると、花恵の金が入った袋にぶつかり、金が溢れるが、誰も見向きもしない。

それは、花恵の存在を丸ごと否定されたかのよう。

取り残される花恵。

青い鳥の死体が入った箱を持って行こうとするが、躊躇する。

そして自分の行動の帰結をそこで知る。

着替え始める、花恵。

ドレスに着替える。

ストッキングも一生懸命履く。

ゲロと、ロープと、金と、鳥の死体がある部屋で彼女は一生懸命着替える。

携帯電話が鳴る。

もちろん出ない。

留守番電話に切り替わる。

成沢の声が聞こえ録音される。ピーっと切られる。

そばが十割蕎麦なので茹で方など注釈してる。

もう一度鳴り、成沢の声が録音される。ピーっと切られる。

これから来るそうだ。

花恵は拳銃を美奈子の上着から取り出して、見つめ、自分の服に入れる。

また、携帯電話が鳴る。

花恵、成沢の声の途中で携帯電話を折り、捨てる。
決心をして、出て行く。

マンションには誰もいなくなる。

無音。

ゆっくり、帰ってくる武藤。

花恵を探す。

武藤
・
・
花恵さん？

辺りを見渡す武藤。

無音。

怖くなり彼女の名前を呼ぶ、

武藤 花恵さん！！

間。

花恵、奥から紀伊国屋の紙袋をふたつ持って出てくる。
すごい重そう。

花恵 なに、

武藤 どこにいたんすか、

花恵 風呂場、

武藤 風呂場？

花恵 大声出すなよ、

武藤 いや心配になって、

花恵 なにが、

武藤 そんな、空気だったから。

花恵、無表情。

武藤へ、袋から札束を出す。

花恵 あ、やっぱだめだ、これ使うんだ。(戻す)

武藤 なんなんすか、

花恵 たぶん、成沢さんがこれから来るからさ、いろいろ聴かれたら面倒だから、部屋片付けておいてもらっていい？ タダで悪いけど、

武藤 え、どこいくんですか？

花恵 品川、

武藤 品川？ え？

花恵 0時には戻るから。・青い鳥買って、競り落として、全財産捨てても買って来るから。買えなくても埠頭に全部捨ててくるから。・・・それでも、あたしのこと好きで居てくれる？

間。

武藤 花恵さんは、マネーショック状態なんだから、それがトラウマなら、いつそそれ全部捨てちゃっ

てもいいんじゃないっすか、

泣きそうなる花恵。

花恵 トラウマとか無いから。トラウマ売ってるなら、買ってえよ・・・虚無とか、嘘だから。これが、無駄に金持ちになった人間が行き着いた、人間の本性だよ。だからみんながあたしを否定するんだ。あたしをよーく見てよ、これがお前らだよ。

武藤

花恵 ……見ろよ、焼き付けろよ。

凄んだ顔のまま、イトーヨーカドーの袋も持ち、出てゆく、花恵。

残される武藤。

部屋を片付けようか、

と思いきや、またゆらりと花恵が戻ってくる。

花恵 全部なんにもなくなったら、思う事、全部言うから。

武藤 . . .

花恵 空気で感じろとか、吐き気するじゃん。空気とか、無いから。あたし、思ってる事、いままで黙ってた事、言わなかった事、めんどくさいこと、全部言うから。聴いててくれる？

武藤 . . . はい。

出てゆく、花恵。

残される武藤。

部屋を片付ける。

また行ったと思いきや、

またまた花恵がゆらりと戻ってきて、赤裸々が止まらない。

花恵 つまんないんだ、あたしの人生。すごいつまんないんだよ、絶対に滑る話、つまらない話だよ、全部そうだよ . . . (涙ぐみ) それでも寝ないで、全部聴いてくれる？

間。

武藤、笑ってしまう。

武藤
めんどくさい、めんどくさいっすよ。

花恵、武藤につられて、やっと笑う。

めんどくさい空気が流れる。

暗転。

『めんどくさい人』了。

めんどくさい人
2017年 改訂版

2018年3月31日 初版発行

著 者 ハセガワアユム © 2018年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529
